

令和2年度 釜利谷中ブロック学力・学習状況調査における分析 ～ブロックテーマ～

○9年間で育てる子ども像：集団の中でお互い認め合い高め合おうとする子ども

☆9年間で育成を目指す資質・能力

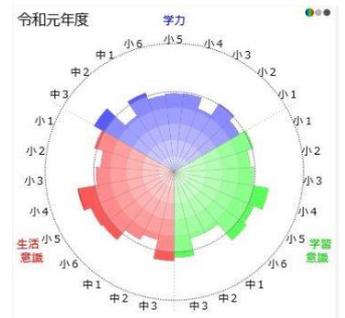
**人とのかかわり・つながり・コミュニケーション能力を大切にしながら、
認め合い・高めあう力**

○取り組み目標：人とのかかわりを大切にした指導の研究

【令和元年度を中心に分析】

〈学力〉

- ・学力平均は、3校とも市の平均並みか少し下回っている。
- ・学校によって、年度によって学力の差があるが、特に、学力が低い学年、中2年（現中3）小3年（現小4）は、担任の負担が大きい。
- ・学校によって差があるが、学習意識、生活意識は低めになっており、自信のなさや欲のなさ、自己肯定感の低さがうかがわれる



〈人とのかかわり〉

- ・「まちの行事に参加していますか」の問いに関しては、参加している児童が多い。特に、中学生の参加状況がよい。小学校では、地域のお祭りによく参加している。中学校では、部活動を中心に、地域のお祭りに加えて、地域防災などにも参加している。地域の方との交流が盛んであるといえる。
- ・「話したり、聞いたりして、人とかかわることが好きですか」の問いに関しては、小学校では、市平均よりも高い傾向にある。
- ・「あいさつを自分からしていますか」の問いに関しては、市平均に近い値である。



〈考察〉

地域との交流が盛んなところは、本ブロックの長所である。地域の方も積極的に行事を開催したり、学校運営に協力したりしてくれている。それを本ブロックの取り組み目標である「人とのかかわりを大切にした指導」に生かしていきたい。

人と話したり、聞いたりして、人とかかわることが好きである小学生が多いところも、本ブロックの「集団の中でお互い認め合い高め合おうとする子ども」という目指す姿にむけて強みである。小学校での傾向を中学校でも継続していきたい。

「あいさつ」については、市平均まであがってきているので、今後、より活動を進めていきたい。各学校でのあいさつ運動や横浜こども会議での話し合いを、今後の活動に生かしていきたい。